

# 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和4年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	公共下水道	—

## 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		●					

## 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型)	汚水処理施設の統廃合 ●	(取組の概要)		(実施(予定)時期)
		処理場廃止あり ●	処理場廃止なし ●	公共下水道(新発田地区)を流域関連公共下水道として整備・供用開始(H14年度)し、処理場建設経費5,000百万円、年間運営経費100百万円の削減となった。農排(福島・米倉)地区の汚水について、流域関連公共下水道へ接続を実施(H29年度・R元年度)し、農排処理場年間運営経費12百万円×2箇所削減となった。※試算では米倉地区の公共下水道への接続工事費は113百万円、既存農排処理施設の更新工事費は77百万円であった。		平成 14 年
実施予定		公共下水・流域下水の統合 ●	公共下水同士の統合 ●	集落排水・公共下水との統合 ●	特環下水と公共下水との統合 ●	その他 ●
		汚泥処理の共同化 ●	維持管理・事務の共同化 ●	最適な汚水処理施設の選択(最適化) ●		
検討中	→	(取組の効果額)	百万円(年)		(取組の効果額内訳)	
		(取組の概要)			(検討状況・課題)	